

## 会長就任あいさつ



社会福祉法人  
一宮市社会福祉協議会  
会長 真野克彦

このたび、令和2年3月30日に開催されました理事会において、一宮市社会福祉協議会会長に選任されました。就任に際しましては、その職責の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

近年、少子高齢化・人口減少・介護や経済格差に伴う貧困、地域社会からの孤立など福祉課題は複雑・多様化する中、地域にお住いの住民一人ひとりがいつまでも暮らし続けたいと思える、みんなにやさしい、安心安全なまちづくりの実現を目指し、役職員一丸となり、努力を重ねて参りたいと存じます。

どうぞ、市民の皆様方のご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、就任のあいさつといたします。

# 令和2年度 社会福祉法人 一宮市社会福祉協議会 事業計画書

## 基本方針

### 1 地域課題への対応

介護保険制度等の公的サービスで対応できないニーズに対し、住民の助け合いの理念に基づく住民主体の福祉のまちづくりを目指し、地域での生活支援の仕組みづくりを関係機関と連携して進めます。

住民の助け合い家事支援事業として取り組んでいる「ちょこボラサービス」については、利用会員からの多様なニーズに応えるため、協力会員の育成に努め、住民参加による地域福祉を推進します。

地域での居場所づくりの一環として取り組まれている「ふれあい・いきいきサロン」については、「出張サロン」や「サロンの立ち上げ支援」を実施し、サロンの拡充を促進します。

また、災害の発生に備え、迅速に災害ボランティアセンターを設置し、円滑な運営ができるよう職員の資質向上に努めます。

### 2 地域福祉活動の推進

地域福祉事業については、支会間の情報交換や先進地の調査研究を進め、支会活動の充実を図るとともに、職員が積極的に地域へ出向き、支会との連携を深めます。

ボランティアセンター事業については、昨年に続き「いちのみやボランティアフェスティバル」を開催し、ボランティア活動を啓発するとともに、各種ボランティア講座等を開催し、ボランティアの育成に努めます。

また、発災時には災害ボランティアを募り、被災地支援を行います。

障害者福祉活動事業については、障害者スポーツを広める機会として、「障害者スポーツ教室」を実施し、障害者スポーツの普及に努めます。

日常生活自立支援事業については、制度の周知に努め、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等で判断能力が十分でない方が、自立して生活できるよう支援します。